

## 第36期第16回常任理事会議事録

日 時：2011年12月22日（木）13時30分～14時50分

会 場：KKRホテル東京（11階「白鳥の間」）

出席者：新野，藤谷，岩崎，経田，近藤，佐藤，田中，徳廣，中島，中村，藤部，余田，以上12名（常任理事現在数13名）

欠席者：三上，以上1名

その他の出席者：塩谷，須田，高瀬，藤吉(理事)，田沢，萩原，渡辺（事務局）

### 議 事

1. 第36期第15回常任理事会議事録の確認

2. 第36期第8回理事会議事録の確認

3. 会員の新規加入等について

新入会員6，退会13を全会一致で承認。2011年12月20日現在，会員数3,820名で通常会員は1,072名。

4. 原子力発電所の事故発生時に対する対策のあり方に関する提言（案）について

理事長の指名した10名からなる作業グループ「原発事故に伴う放射性物質の拡散に関するWG」のまとめた提言案を，現時点の取り組みを示す資料として，常任理事会に引き続いて開かれる評議員会の出席者に席上配布(ただし事後回収)することを承認した。また，最終的な提言は理事の意見を反映して発表することを確認した。

5. 各委員会からの報告

庶務…

1) 転載許可

①申請者：古川武彦（気象コンパス）

転載元：気象集誌，1893年，12巻，No. 6，252ページ，写真，天気 1961年，Vol. 8，No. 1，1-13ページ写真

転載先：「人と技術で語る天気予報史—数値予報を開いた金色の鍵」古川武彦著，東京大学出版会

②申請者：丸善プラネット株式会社

転載元：Fig.4 a, M.Kimoto, N.Yasutomi, C.Yokoyama and S.Emori,2005 :

Projected Changes in Precipitation Characteristics around Japan under the Global Warming,  
SOLA,Vol.1

転載先：「気候システム論」植田宏昭著，筑波大学出版会発行

③申請者：山岸米二郎

転載元：

・山岸米二郎,土井雅彦,北畠尚子,上口弘晃,1992：強い突風を伴った寒気(団)内低気圧,天気 Vol.39,27-36,  
第1図,第3図,第10図。

・股野宏志,1994：総観気象学の幕開け,天気 Vol.41,505-514,第1図

・大原利真,鵜野伊津志,1997：房総前線出現時の局地気流とNO<sub>2</sub>高濃度汚染の数値シミュレーション,  
天気 Vol.44,855-874,第1図

・加治屋秋実,広畑雅哉,2003：2000年12月25日，伊豆大島に出現した多重渦竜巻,  
天気 Vol.50,3-4,写真2(a)

・遊馬芳雄,2003: オホーツク海周辺で急激に発達する低気圧と水蒸気輸送,天気 Vol.50,508-515,  
第2図

・Fujibe,F., and T.Asai,1984:A detailed analysis of the land and sea breeze in the Sagami Bay area  
in summer,J. Meteor.Soc.Japan,62,534-551,Fig.3。

転載先:「日本付近のいろいろな低気圧」山岸米二郎著,東京堂書店発行

## 2) 後援名義等使用依頼受付

### ①名称: 雷サミット11

主催: 雷文化都市構築推進委員会

期日: 2012年1月7日

場所: 東北公益文科大学大学院

名義: 後援

## 3) その他

・11月29日: 第32回猿橋賞候補者推薦応募

・12月2日: 2012年会費の請求書発送(個人会員 3,191名分)。

・12月5日: 選挙管理委員会により、第37期役員選挙が天気及びホームページ上に告示された。

会計…2011年11月分の収支及び現預金検査報告

天気…Vol. 58 No. 12 (2011年12月号) の掲載記事と, Vol. 59 No. 1 (2012年1月号), No. 2 (2012年2月号) の予定記事の報告.

気象集誌…Vol. 90 No. 1の掲載論文の報告.

気象研究ノート…「境界層」について,印刷段階にあることが報告された.

・過去発行分のPDF化作業が最終段階にあることの報告.

SOLA…今年の公開論文数が63と目標数としてきた50を超え,創刊6年目にして目標達成したことが報告された.

・新しい投稿一査読システムJ-Stage3で処理した最初の論文が近々公開との報告.

講演企画…2011年度秋季大会の報告. 講演件数501は近年では2008年度秋季大会に次ぐ件数との報告.

・2012年度春季大会の準備状況の報告. シンポジウムの内容の検討状況を確認した.

・2012年の大会ウェブをこれまでの業者と随意契約することを了解した.

総合計画…公益社団法人移行に伴う新規定類について,現規則類からの統廃合と名称変更の検討結果が報告された.

学術…「日本の気象学の現状と展望」の公開を2012年の早い時期として作業を進めていることが報告された.

教育と普及…サイエンスカフェの実施状況の報告.

・春季大会の公開気象講演会の準備状況が報告された. テーマと趣旨内容について検討した.

各賞…中堅研究者を褒賞する新たな賞の創設に向けた今後の工程を議論した.

国際学术交流…次回2013年の日本・中国・韓国気象学会共催国際会議はこれまでの取り決め通り中国開催予定と報告された. また,同会議の今後のあり方について議論した.

電子情報…新定款案及び新細則案に対する意見募集や第37期役員選挙の告示に合わせた,新ページ設置の報告.

・新サーバ上の会員向けページの設置とコンテンツ管理に向けて、実作業者の確保が課題であることが報告された。

## 6. その他

2011年度秋季大会（名古屋大会）概要報告として、参加者と発表件数の詳細、大会会計、大会での問題点と対策・提案が報告された。

平成24年1月25日

社団法人日本気象学会

議 長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 経田 正幸